

新潟青陵学会
第9回学術集会のご案内

地 域 で 支 え る 子 ど も の 未 来

2016

11/5 (土)

■ 会 場 新潟青陵大学

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地

■ 主 催 新潟青陵学会

第9回 学術集会長／本間 昭子

新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授



- 受付 / 9:30 - 10:10 (6号館 玄関)
- 挨拶 / 10:00 - 10:10 (5号館 5301講義室)
- 学会 長 / 諫山 正 (新潟青陵大学 学長)
- 学術集会 長 / 本間 昭子 (新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授)

Ⅱ. ポスターセッション

- 13:00 - 14:00 (6号館 体育実技室)
- 基礎研究・調査研究等のポスターを掲示してもらいます。
上記時間内は、研究者のうち最低1名がポスター前に待機し、参加者の質疑応答に備えてください。

Ⅲ. シンポジウム

- 14:10 - 16:00 (5号館 5301講義室)

メイン・テーマ
地域で支える
子どもの未来

日本の子どもは、物質的に豊かさを享受できる社会にいると言えるのにかに、疑問を持つことが増えてきました。それは、子どもの貧困について、情報が提供される機会が増えたからです。2016年4月14日、国連児童基金(ユニセフ)の報告によると、子どもの貧困格差の先進41カ国の比較において、日本は34位と下位から8番目でした。

世界的に見れば、豊かな国として存在する日本において、何が起きているのか。私達は、詳しく知らなければならない時期にきています。様々な対策は、国民的な合意を得て進められる施策と、地域の繋がりを生かした取り組みの双方が求められています。貧困状況の中で生活する子ども達の未来は、どうなるのか。子ども達の生活が脅かされる社会に、未来はあるのか。

本学術集会に於いて、子ども達の未来に関わる専門職者や関係者の皆様、並びの学生の皆様と、共に深く考えたいと思います。

I. 基調講演

- 10:10 - 12:00 (6号館 玄関)

子どもの貧困：その社会的構造

講師 山野 良一 先生 (名古屋市立大学社会保育学科 教授)

北海道大学経済学部卒業後、神奈川県にて児童相談所に勤務(児童福祉司)。2005-2007年米国ワシントン大学ソーシャルワーク学部修士課程に在籍し、インスタンとして働く。ソーシャルワーク修士(MSW)取得。2010年に数人のメンバーとともに「なくそう」子どもの貧困」全国ネットワークを設立し、現在は世話人。

著書に「子どもの最貧国・日本-学力・心身・社会に及び諸影響」(2008年)、「子どもに貧困を押しつける国・日本」(2014年)などがある。

総会

- 12:10 - 12:20 (5号館 5301講義室)
- 学科員の方のみとなりますので、非学科員の方はご遠慮ください。

テーマ
「子育てを支える地域の力」
ー 健康・生活・発達の視点から ー

趣 旨

子どもの将来は、その生まれ育った環境によって多かれ少なかれ影響を受けるのですが、昨今では、経済的な理由による生活困窮や教育を受ける機会の制限、生活習慣の乱れ、社会的な孤立等、様々な問題が山積しています。これらの問題を解決するには、まず様々な専門職の多角的な視点から地域の実情を十分に理解することが何よりも欠かせません。

そこで本シンポジウムでは、県内における子ども家庭を取り巻く現状を知るため、行政の立場で子育て家庭に密に関わる保健師から子どもの健康について、地域における子育ての拠点として活動する「子ども食堂」の方から子どもの生活や居場所作りについて、さらに保育士の方から子どもの成長・発達についてお話しいたします。そして、地域におけるそれぞれの立場や活動を理解し、身近な地域の実情に即した課題を明らかにすることを目指します。

将来社会の担い手となる子どもたちの健やかな育ちを支援するために、私たちができることは何か、シンポジスト及び参加者の皆様と議論を深めたいと思います。

●シンポジスト

清野 直美 氏 (保健師) 新潟市所役所健康推進課	久住 由紀子 氏 (ふじみ子ども食堂スタッフ) にいがた子育て支援センター副代表	藤田 みどり 氏 (保育士) 元公立保育園長
長年子育て支援に関わってきた現役保健師さんです。現在、新発田市では「なかみつけ保健師」制度によって妊産婦から就学まで「顔の見える支援」を行っています。そうした活動の様子や健康への支援についてお話しいたします。	新潟市で最初に「子ども食堂」を立ち上げた発起人のお一人です。「温かい食事」を通して地域の子どもたちの生きる力を育み、居場所づくりに動んでおられます。活動の実態報告と地域の役割や課題についてお話しいたします。	青陵短期大学卒業後、保育士として公立保育園に40年ご勤務。地域のつながり、人とのつながりが希薄化していく中で、保育士という立場で子どもの育ちをどう支えてこられたのかを、豊富な経験から話していただきます。

●座 長

渡邊 タミ子
新潟青陵大学大学院看護学研究科 教授

ポスターセッション発表の申込み・抄録原稿作成・発表

1 発表申し込み

①方 法

発表をご希望の方は、大学ホームページからポスターセッション発表申込書をダウンロードして必要事項を記入のうえ、電子メールに添付してお送りください。

E-mail: 2016conf@n-seirvo.ac.jp

②申し込み・抄録原稿の提出期限

2016年8月22日(月)《必着》

2 抄録原稿の作成・提出

- 本文の記載は、原則として、I 目的、II 方法、III 結果、IV 考察、V 結論、引用文献とします。
なお、個人情報保護等の倫理的配慮を必ず記載してください。
- 文字の大きさや書体等の組み込みは抄録作成見本をご参照ください。
- 抄録原稿書き・抄録原稿作成に関してはチエクリストを大学ホームページからダウンロードしてご使用ください。
- 抄録原稿はWord(ver.2000以降)で作成し、電子メールに添付してお送りください。

3 発表者の資格・選考

格 審 ①

- 共同研究の場合は、会員が必ず1名以上含まれることを要件とします。
- 単独での発表を希望される非会員の方は、事前にご入会いただく必要があります。
- 大学ホームページから入会申込書をダウンロードして必要事項をご記入のうえ、電子メールでお送りください。
- 1週間以内に受領メールが届かない場合は、ご連絡ください。
- ### ① 選考
- ポスターセッション発表申込の受理は前記の申込書類の受領をもって行い、採否は9月上旬までに郵送にて連絡します。
- 採択された抄録原稿は、新潟青陵学会第9回學術集會抄録集に掲載されます。

4 個人情報情報の利用

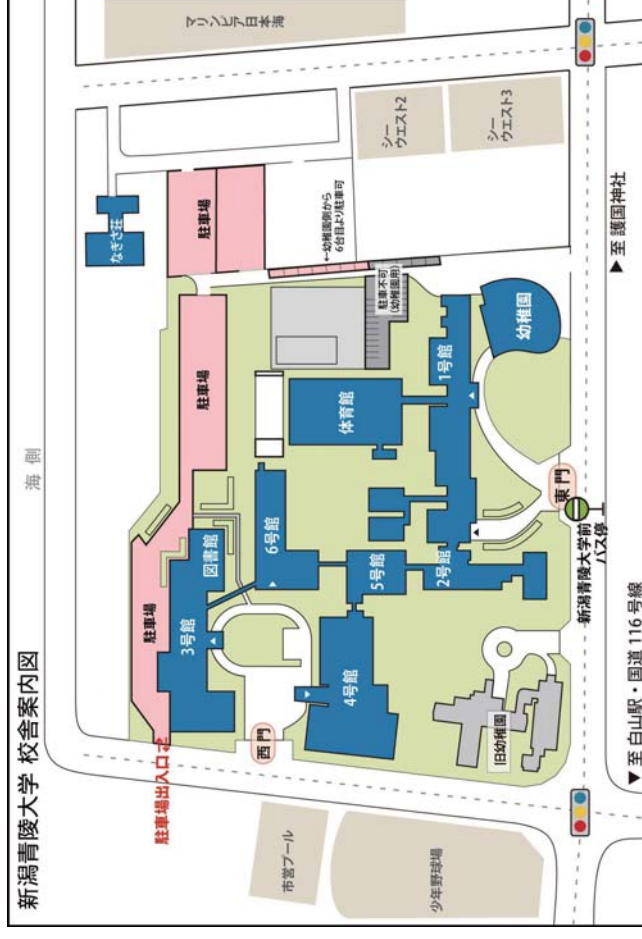
- ポスターセッション発表申込書に記入された氏名・所属は、新潟青陵学会抄録集に掲載されます。
ご了承ください。

5 ポスターセッションで掲示するポスター

- 発表者は学術集会当日9:30～10:10の間に受付までお越しください。
 - ポスター掲示スペースは題名を含めて1演題210(縦)×90(横)cmです。
 - ポスターは当日持参し、10:30までに掲示を完了してください。
 - ポスターを掲示するもののポスター、テーブル類は、学術集会事務局で準備します。
 - ポスター掲示開始時間は15:00までです。15時以降は学会事務局がポスターの撤去を行います。
撤去したポスターを、16時10分までに受け取りにきてください。
- 10時30分までに受け取りに來られない場合は処分いたしますので予めご了承ください。

𠂇
 𠂈
 𠂉
 𠂊

新瀾青陵大學校舍內圖



- 大学生協売店が10:00~16:00まで営業します。昼食等を購入される方はご利用ください。
- 会場の駐車場は数に限りがございますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 会場周辺には公共施設等の駐車場がございますが、本来の利用者の方の妨げになりますので、本芸術集会にご参加の方のご利用は固くご遠慮ください。

參加申込・參加費

- 事前申し込みは不要です。当日、直接受付においでください。
- 参加費

学生会・本学生・院生	非学会员
無料	一般 1,000円 学生・院生 500円

※非学会員の方は当日受付にて参加費をお支払いください。
注)本学卒業生は別途入会者を除き、非学会員です。

memo

A series of 25 horizontal dashed lines for writing.

交通アクセス



■JRをご利用の方 JR越後線(白山駅)下車、徒歩15分

■バスをご利用の方 新潟駅前万代口バスターミナル(のりば: 7)から
 C20(浜浦町線〈浜浦町経由〉西部営業所ゆき) バス停 松波町1丁目下車 徒歩4分
 C21(浜浦町線〈浜浦町経由〉信濃町ゆき) バス停 松波町1丁目下車 徒歩4分
 C22(浜浦町線〈青陵大学前経由〉水族館前ゆき) バス停 新潟青陵大学前下車 徒歩1分

新潟青陵学会第9回学術集会事務局

〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地
 TEL:025-266-0127(代表) FAX:025-267-0053
 E-mail:2016conf@n-seiryō.ac.jp
 ホームページ: <http://www.n-seiryō.ac.jp/gakkai/>
 受付時間:8:30~17:00(土日祝日・休業日は除く)

お問い合わせ先